



道新青葉中央販売所だより

2020/ 1/5
日曜日

HPはこちらから



発行元：(株)道新販売センター 青葉中央販売所

〒004-0021 厚別区青葉町6丁目1-33 ☎0120-881-365 FAX891-3486

営業時間 平日：9時～20時 日祭日：9時～12時

厚別ブラ歩き #28 謹賀新年2020 厚別の神社

明けましておめでとうございます。

本年も「厚別ブラ歩き」をよろしくお願ひ申し上げます。皆様は新しい年をどのようにお迎えでしょうか。私は昨年からは、UHB（北海道文化放送、8ch）の「みんテレ」（15：50-）という番組で、「となりのレトロ」というコーナーを受け持ってきました。月に2回ほど、おもに札幌とその近郊の街を訪ね歩き、地域の歴史をお伝えしています。その年明け最初の放送が**1月6日(月)**の予定です。厚別区ではありませんが、お正月にちなんで初詣の場所を探訪します。「北海道で一番高いところにある神社」です。どうぞご覧ください。

さて、初詣といえば、ご近所の神社にお詣りされた方も多いのではないのでしょうか。厚別区内には私が知る限り、神社が7社あります（末注）。信濃神社、大谷地神社、上野幌神社、小野幌神社、下野幌八幡神社、山本稻荷神社、澄丘神社です。

これらの神社の多くは、明治時代の中頃から後半にかけて建立されました。道外各地から入植した人びとが祀った祠を起源として、神社としての体裁を整えていったものとみられます。図1は1916（大正5）年測図の地形図から、現在の厚別区のあたりを抜粋したものです。神社（鳥居をかたどった記号）の位置を赤い○で囲みました。全部で6か所あります。前述した7社のうち、この地図に載っているのは信濃神社、大谷地神社、上野幌神社、小野幌神社、下野幌八幡神社の5社です。それぞれの神社を当てはめてみてください（小野幌神社は、現在地とは別の場所にありました）。神社の記号は6か所ですから、5社以外にも1社、神社があったことを意味します。それはどの場所でしょうか。クイズのつもりで探してみてください。実は、そのあたりには今も祠があります。

（地域史研究者 杉浦正人）

注：札幌市教育委員会『さっぽろ文庫39 札幌の寺社』1986年、pp.64-65、p.76、札幌市厚別区『あつべつ見聞録』1990年、p.61。信濃神社は、「北海道開拓の村」にも旧社殿が移築保存されている。

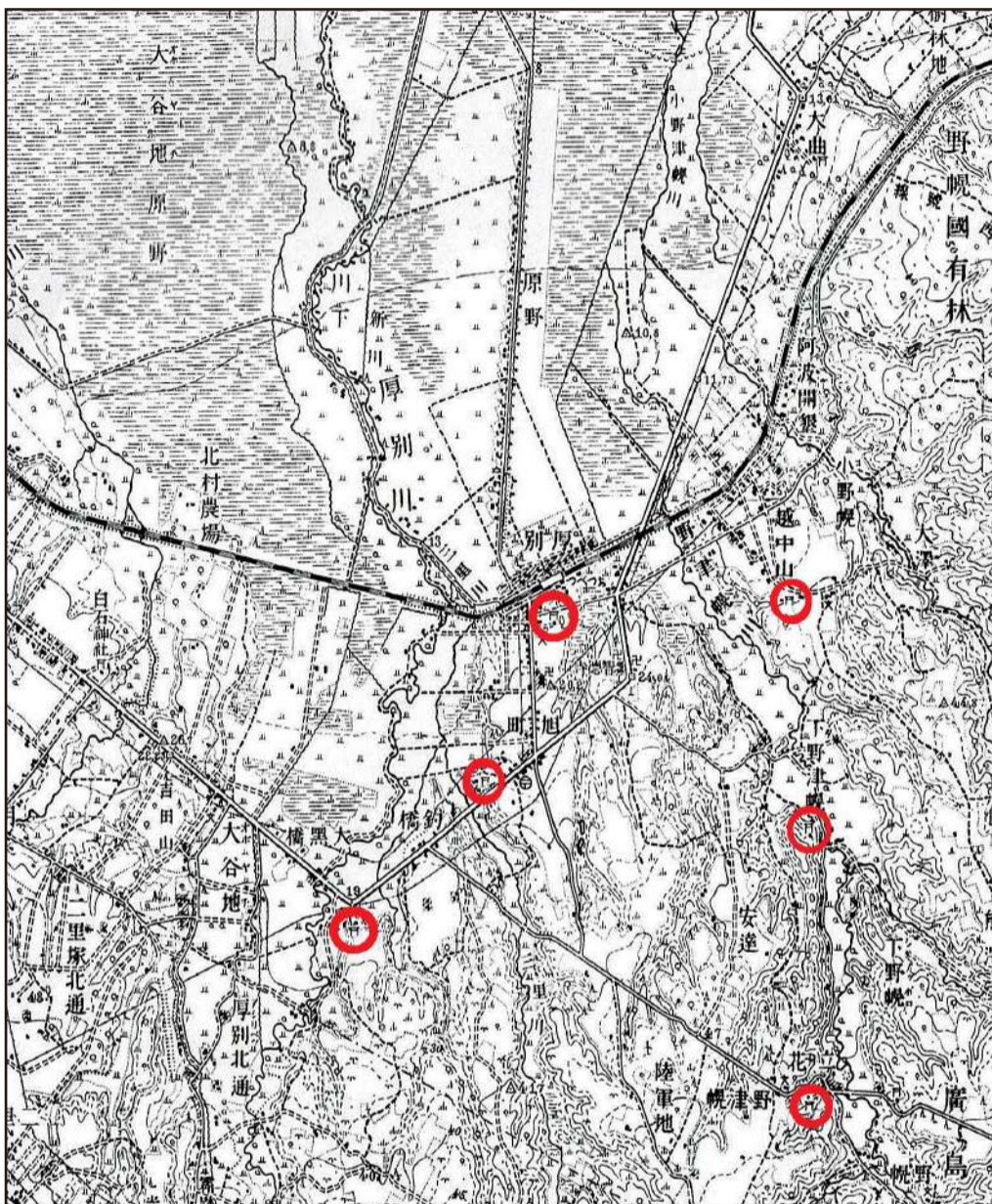


図1：地形図「札幌」1916(大正5)年測図から(抜粋)

道新 青葉中央販売所は献血活動を応援しています

命を救うボランティアみんなで献血へ行こう！



★みなさまの血液は、誰かのいのちに繋がります★
～ A型・O型・AB型の不足に非常に困っています～

～新さっぽろ献血ルームのご案内～

- ◇厚別中央2-5 Duo(デュオ) 地下1階
- ◇受付時間 ①10:00～13:00 ②14:00～18:00

★休憩スペースにはクッキーなどお菓子をご用意しております。また、キッズスペースも充実！安心して献血いただけます。



※①北海道赤十字センターHPより転載

<https://www.bs.jrc.or.jp/hkd/hokkaido/>